



学校便り

平成23年 9月22日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

5年が「野外活動」に行ってきました

今年度、広瀬小学校5年生は、山・海・島体験活動推進事業に参加し、3泊4日の予定で、北広島町へ行きました。豊かな大自然に囲まれ日本の原風景である農山村の暮らしが、北広島町にはありました。そんな北広島町の農家民宿に宿泊し、子どもたちは、「雄大な自然を感じる」「ありのままの生活を体験し、暮らしの知恵を知る」「地域の人とふれあい、人の温かさ優しさを感じる」「農作業を体験し、食の生産現場を理解する」など、いろいろなことを体験しました。子どもたちの感想をまぜながら、今年の野外活動をお知らせします。

【1日目】 川魚体験・田舎暮らし体験



・川魚体験では、まず「アマゴ」の説明（アマゴは群れでは行動しない等）をしていただきました。アマゴのえさやりでは魚がパチャパチャはねていました。次はアマゴのつかみ取りです。つかみ取りは一人二匹と決まっていた。最初はつかめるわけないと思っていて岩の下に手を入れたらニョロッとする物がいました。アマゴです。よし、取ってやるぞと思って岩に両手をつっこんでつかみました。

(5の2 中間祐光)

・民宿生活では夕食作りが心に残っています。夕食の食材は畑からとりました。みそ汁もだしからとり、ピザもきじから作りました。ふだん家では、夕食を自分で作ることができないので楽しかったです。

(5の1 小川眞弥)



【2日目】 雲月山登山・田舎暮らし体験・神楽鑑賞



・ぼくが一番心に残っている事は雲月山登山です。ガイドさんと山を登っていくと、秋の七草をしょうかいしてくださいました。そこで、マムシが出てきました。牛もいました。ちょっと登ると、小さい石があって、右足が島根県、左足が広島県でした。何か、ふしぎな感じがしました。(5の1 藤田慎也)

・登山体験では山から見る景色がとってもきれいでした。けれども風が強かったです。山には、秋の七草「オミナエシ」「クズ」「ナデシコ」「キキョウ」「フジバカマ」「ススキ」「ハギ」がありました。山には、急な坂やごつごつした岩などがありとても大変でした。(5の2 戸梶 望)



・民宿生活で心に残ったことはハウレンソウをしゅうかくしたことです。ふくろづめもしました。夜にポパイなべにして食べました。

(5の1 坂本祥子)

・民宿生活で心に残っているのはご飯作りです。野菜を盛りつけたり、野菜の皮をむいだりしました。ハウスにはナスビやトマト、キュウリやゴーヤがありました。(5の1 延河ちひろ)

・最初の太鼓の音がすごく大きくてびっくりしました。でも演技の時の太鼓の音はすごくきれいでした。次に鬼が出てきて、目の前まできたのでびっくりしました。はく力があつてすごかったです。最後に衣装を着てみたら、すごく重くて、これを着てまうことができるのがすごいなあと思いました。

(5の2 佐藤 晶)



【3日目】 リンゴ栽培体験・水生生物観察



・リンゴの栽培体験をして、すごくたのしかったし、勉強になりました。まだ青いリンゴを食べたときは、かたくてすっぱかったけれど、おいしかったです。こんな体験をするのははじめてだったので、貴重な体験ができてよかったです。シールをはったリンゴが届くのがとても楽しみです。

(5の2 戸田美穂)

・ぼくは、水生生物観察が心に残っています。理由は大きい魚がいたり小さい魚がいたり、時には、すごくめずらしい魚をとる人もいたからです。上流でぼくたちは大きい魚をとりました。水は冷たかったです。下流には小さい魚しかいなかったです。でもいっぱい魚がとれて楽しかったです。

(5の1 田中亮汰)



【4日目】 竹細工・ソーメン流し



・野外活動の4日目の最後に竹細工、そうめん流しの体験がありました。竹細工では「なた」というとても重い物を使ってはしを作りました。そして、のこぎりで竹を切りつゆを入れる物を作りました。マイはしと、マイうつわができました。その後そうめん流しをやりました。最初はそうめんだけしか流れてこなかったけれど、どんどんいろいろな物がながれてきました。トマト・キュウリが流れてきました。

(5の1 柄脇将人)